

『内科医・小児科研修医のための小児救急医療治療ガイドライン』 正誤表

このたびは『内科医・小児科研修医のための小児救急医療治療ガイドライン』(2004年4月1日発行)をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書に以下の誤りがございましたので、ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2006年6月現在

| 訂正箇所 | 項目名 | 誤 | 正 |
|-------------------------|-----------------------------|---|---|
| 333頁・右段・上から6行目 | 2.腎性の場合 高血圧に対して | 塩酸ニカルジピン (0.5~6μg/kg 点滴 静注) | 塩酸ニカルジピン (0.5~6μg/kg/分 点滴静注) |
| 333頁・右段・下から15行目 | 電解質補正 | グルコース 1g あたり 0.3~4 単位 | グルコース 1g あたり 0.3~0.4 単位 |
| 373頁図3 Holzknecht 徴候 | simple stenosis の場合 深吸気時 | (患側の呼気量が少 ない) | (患側の吸気量が少 ない) |
| 449頁・右段・上から13行目 | 重炭酸ナトリウム | 7%メイロン ^R (0.83 mEq/l)で 1ml/kg を | 7%メイロン ^R (0.83 mEq/ml)で 1ml/kg を |

2006年5月現在

| 訂正箇所 | 項目名 | 誤 | 正 |
|----------------|-----------------|--|---|
| 263頁・左段・上から8行目 | 1.経静脈輸液 | 200ml を 150ml/kg/ 時間で輸液し | 200ml を 15ml/kg/時 間で輸液し |
| 263頁・左段・下から1行目 | 1.外来での経静脈輸 液 | ソリタ-T1 200mlを 180ml/時間 (150ml/kg/時間) | ソリタ-T1 200mlを 180ml/時間 (15ml/kg/時間) |
| 263頁・右段・上から3行目 | 1.外来での経静脈輸 液 | (100ml/kg/時間)程 度に変更した | (10ml/kg/時間)程 度に変更した |